

日本地熱学会令和5年学術講演会（岐阜大会）の開催予告と研究発表募集

日本地熱学会行事委員会

1. 期日 令和5年11月14日（火）～11月16日（木）
2. 会場 じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11, JR岐阜駅前）
3. 日程

講演会等	令和5年11月14日（火）～11月16日（木） 一般講演，特別講演，ポスターセッション，オーガナイズドセッション，学生ベストポスター・ベストプレゼンテーションコンテスト
総会	令和5年11月15日（水）
懇親会	令和5年11月15日（水）アーフェリーク迎賓館
見学会（地中熱）	令和5年11月13日（月）岐阜市役所庁舎地中熱利用システム
見学会（地熱）	令和5年11月17日（金）奥飛騨温泉郷の地熱発電所
チャリティーゴルフコンペ	令和5年11月17日（金）岐阜稲口ゴルフ倶楽部

※ 今後の新型コロナウイルス感染状況などにより，開催方法等が本開催予告から変更となる可能性があります。

※ 本講演会に関する最新情報・プログラムは，学会ウェブサイト（学術講演会のページ）に逐次掲載されますので，随時ご参照およびダウンロード願います。

4. 重要な期日

5月8日（月）	オーガナイズド，共催セッション募集開始（終了）
6月23日（金）	オーガナイズド，共催セッション 提案締め切り（終了）
7月7日（金）	研究発表および早期参加登録のための新規入会申請期限（7月の評議員会にて入会を審議）（終了）
7月14日（金）	早期参加登録・発表申し込み開始
8月25日（金）	発表申し込み・講演要旨アップロード締め切り
8月末	チャリティーゴルフコンペ申し込み締め切り（定員になり次第締め切り）
10月2日（月）	講演会参加のための新規入会申請期限（10月の評議員会にて入会を審議）
10月13日（金）	早期参加登録締め切り
10月16日（月）頃	直前・当日参加登録開始

5. 学術講演会への参加

5-1. 全般

- ・ 学術講演会への参加申し込みは，講演会当日を含めすべてウェブ上で行います。参加登録料が割安な早期登録（10月13日まで）と，通常料金となる直前・当日登録（10月16日頃開始予定）があります。登録方法については「7. 参加・研究発表申し込み」をご覧ください。
- ・ 早期登録は，クレジットカードまたは銀行振込でお支払いいただけます。直前・当日登録より

1,000 円割安です。

- ・直前・当日登録は、クレジットカード支払いのみとなります。会場でも現金での支払いは出来ません。早期登録と同様の登録システムにより、ご自身の PC またはスマートフォンで登録、支払いいただきます。ご来場前にご登録いただくことをお勧めします。

5-2. 参加資格

- ・学術講演会に参加できるのは以下の方です。本学会員（2022 年度会費まで完納の方）、賛助会員、自治体等行政関係機関、公的研究機関、大学等教育関係機関および自治体が関連する地熱・地中熱関連研究団体の方々。令和 5（2023）年 10 月から始まる本学会令和 6（2024）年度の入会を承認され会費を納入された方。
- ・賛助会員の方は、事前に配布される参加コードを使用することで 1 名のみが無料で参加いただけます。2 人目以降は参加登録料をお支払いいただきます。
- ・企業・団体として賛助会員である場合は、その親・子会社もしくは親・子組織に所属する方は、賛助会員として参加できません。
- ・自治体等行政関係機関、公的研究機関、大学等教育関係機関および自治体が関連する地熱・地中熱関連研究団体の方々は、学会ウェブサイトの学術講演会参加申し込みページにて、ログイン ID を発行します。

5-3. 参加登録料および区分

区分		早期登録 (10月13日 締切)	直前・ 当日登録	懇親会
正会員, 名誉会員		5,000 円	6,000 円	7,000 円
正会員 (学生)		2,500 円	3,500 円	3,500 円
賛助会員	賛助 (無料) 個人の場合: ご本人 (代理人不可) 法人, 団体の場合: 氏名登録した直属の所属員 1 名	無料	無料	7,000 円
	賛助 (有料) 法人, 団体の場合: 直属の所属員 2 人目以降	6,000 円	7,000 円	7,000 円
会員でない 方	非会員 (学生)	3,500 円	4,500 円	3,500 円
	非会員 (教育機関または公的機関) 教育機関, または公的研究機関, 自治体など公的 機関に所属する者 (学生を除く)。自治体が関連す る地熱・地中熱関連研究団体。	6,000 円	7,000 円	7,000 円
	上記以外の方 次の者を含む。賛助会員である企業・団体の親・ 子会社もしくは親・子組織に 所属する者。	参加でき ません	参加でき ません	参加でき ません

- ・参加登録料は講演要旨集代を含みます。懇親会費は別途お支払いいただきます。
- ・参加登録料の消費税区分については、正会員と賛助会員の参加登録料は不課税区分、非会員の参加費は課税区分（内税）です。
- ・入金後のキャンセルは受け付けません。

5-4. 新規に入会を申請される方の学術講演会参加

- ・令和 5 年 7 月 7 日までに入会申請書を受領した方については、7 月の評議員会にて審議予定です。そこで入会承認され会費を納入した方は、早期登録ができます。
- ・令和 5 年 10 月 2 日までに入会申請書を受領した方については、10 月の評議員会にて審議予定です。そこで入会承認され会費を納入した方は、直前・当日登録をお願いします。
- ・入会を希望される方はお早めに入会申請手続きをおとりください。学会ウェブサイトからオンライン入会申請ができます。
- ・現在非会員の方のみで研究発表を希望される場合は、令和 5 年 7 月 7 日までの入会申請が必要

になります。6-2をご覧ください。

6. 研究発表

6-1. 全般

- ・研究発表はウェブ申し込みのみで受付け、同時に講演要旨原稿を提出（アップロード）していただきます。締め切りは令和5年8月25日(金)とします。申し込み締め切り以降は一切受け付けません。ウェブ申し込みについては、「7. 参加・研究発表申し込み」をご覧ください。
- ・9月下旬頃に行事委員会で講演プログラムを作成し、学会ウェブサイトに掲載の予定です。講演の申し込みをされた方はご確認下さい。
- ・プログラム編成の都合により、一般講演での同一者の口頭発表は1件までとします。

6-2. 発表申し込み要件

- ・発表申し込みを行うためには、申し込み時点で、(1)講演者が本講演会の参加資格保有者であること、かつ(2)講演者・連名者の中に1名以上の本会正会員が含まれていること、を要件とします。
- ・現在非会員の方のみで学術講演会での発表を希望される場合は、令和5年7月7日までに1人以上の方が本会への入会を申請し7月開催の評議員会で入会を承認され、その後、会費納入が確認された後に、ウェブ登録が可能となります。

6-3. 発表形式等

- ・口頭発表の講演時間は質疑応答を含めて15分間の予定です。
- ・ポスター発表のポスターサイズはA0(縦)です。なお、掲示期間およびポスターコアタイムはプログラム編成後、学会ウェブサイトにてお知らせします。

6-4. 学生ベストポスター・ベストプレゼンテーションコンテスト

- ・本年も「学生ベストポスター・ベストプレゼンテーションコンテスト」を実施します。詳細は別添の会告をご覧ください。

6-5. 講演要旨原稿

- ・講演要旨は別添の予稿原稿の見本・要領に従ったPDFファイルをご提出ください。
- ・学術講演会のページにテンプレートを掲載しますので、ご利用ください。
- ・投稿された講演要旨の著作権は、日本地熱学会著作権規定に従い学会に帰属することをご承知置き下さい。

6-6. オーガナイズドセッション【提案は締切済み】

- ・本大会では一般研究発表に加え、会員により企画・立案されるオーガナイズドセッション(OS)を設けます。以下に従い、ご提案ください。
- ・OSを提案される方は、以下の項目を記した提案書を大会事務局にお送りください。
 - ・オーガナイズドセッション名
 - ・コンピーナー
 - ・セッションの趣旨・内容・プログラム等
 - ・希望期日、所要時間
 - ・代表者の氏名・所属・連絡先（メール、電話）
- ・提案書締め切り：6月23日(金)
- ・提案書提出先：大会事務局 gyouji-sec-grsj-ml@aist.go.jp
- ・プログラム編成の都合上、提案された内容の変更をお願いすることがあります。

- ・ OS で発表される内容についても、原則として講演要旨の作成をお願いします。
- ・ OS での発表者は「6-2. 発表申し込み要件」を満たす必要はありません。

6-7. 発表申し込みに関する注意

- ・ 発表に関する希望（関連する複数発表のグルーピングや発表順，など）は，申し込み時に漏れなくお知らせください。ただし，全ての希望を受け入れることができない場合があります。また，申し込み後の変更は一切受け付けません。
- ・ 講演内容が日本地熱学会の目的と関係のない内容，または大きく逸脱していると判断される場合，講演申し込みを受理できない場合があります。
- ・ プログラム編成の都合により，口頭発表を希望された場合でもポスター発表に変更させていただくことがあります。

7. 参加・研究発表申し込み

- ・ 7月上旬に参加登録，研究発表申し込みの受付を開始予定です。
- ・ 学会ウェブサイトから専用の参加申し込みサイトにアクセスし，申し込みと登録料・懇親会費等の入金・振込手続きをしていただきます。
- ・ 参加申し込みには，会員番号（学会からの郵送物に記されています）およびパスワードを使用します。これらは学会マイページと同じものです。参加申し込み時にお手元にご準備ください。
- ・ 会員番号およびパスワードが分からないときは学会のマイページから照会できます。
<https://iap-jp.org/grsj/mypage/> から「パスワードを忘れた方はこちら」に進み，案内に従ってください。

8. 懇親会

- ・ 日時：令和5年11月15日(水) 18:00-20:00（予定）
- ・ 会場：アーフェリーク迎賓館（JR 岐阜駅から徒歩10分）
- ・ 会費：一般7,000円，学生3,500円
 - 参加・支払い方法は，5-1の参加登録と同様です。銀行振込の場合は，10月13日までの早期登録でお申し込みください。直前・当日登録は，クレジットカード決済のみとなります。当日の会場でもウェブ登録システムによるクレジットカード決済のみ可能で，現金ではお支払いいただけませんのでご注意ください。
 - 入金後のキャンセルは受け付けません。
 - 参加多数の場合，定員により参加受付を早期終了することがあります。

9. 見学会

- ・ 11月13日(月)午後：岐阜市役所新庁舎地中熱利用システム導入事例見学会
- ・ 11月17日(金)：奥飛騨温泉郷の地熱発電所見学会（チャーターバスで移動，20時頃に名古屋駅解散予定）
- ・ 詳細は別添に示しておりますので，ご覧になりお申し込みください。

10. チャリティーゴルフコンペ

- ・ 令和5年11月17日（金）

- ・場所：岐阜稲口ゴルフ倶楽部
- ・チャリティー寄金により、地熱エネルギーに関する教育・啓発を主旨として教育機関への教材・図書等の寄付を行います。詳細は別添に示しておりますので、ご覧になりお申し込みください。

11. その他、問い合わせ先

- ・「3. 日程」に記載のとおり、今後の新型コロナウイルス感染状況などにより、開催方法等が本開催予告から変更となる可能性があります。
- ・本講演会に関する最新情報・プログラムは、学会ウェブサイト（学術講演会のページ）に逐次掲載されますので、随時ご参照およびダウンロード願います。
- ・不明の点は下記のヘルプデスクへお問い合わせ下さい。

日本地熱学会学術講演会ヘルプデスク grsj-desk@bunken.co.jp



じゅうろくプラザ アクセスマップ (<http://www.plaza-gifu.jp/access.html>)

講演要旨原稿作成要領
Instruction to Contributors

青葉 山・広瀬 川（北東大・工）・地熱 仁（南西大・理）
Y. Aoba, G. Hirose and J. Chinetsu

講演要旨用原稿は以下の要領で作成し、提出して下さい。

※枠線は印刷しないこと（テンプレートでは印刷されないようになっています）。

- 1) **用紙**：A4 判用紙 1 ページ。上下左右の余白を 20 mm とし、横 170 mm，縦 256 mm の枠内にワープロを使用して書く。
- 2) **表題**：左上隅（20 mm×20 mm 以上）を空けて書く。フォントサイズは 12 ポイントとする。複数行になってもかまわない。和文表題の次の行に英文表題を書く。
- 3) **著者名，所属**：英文表題の次の行は空白とし，その次の行に右づめで書く。フォントサイズは 12 ポイントとする。左端が表題の左側より左にくる場合は複数行とする。この場合，2 行目以降の左端は 1 行目に揃える。著者名の次にかっこ内に所属（分かる限り略記）を書く。著者のローマ字綴りをその次の行に書く。
- 4) **本文**：ローマ字綴り著者名の次の行は空白とし，本文はその次の行から始める。フォントサイズは 9 ポイント以上 12 ポイント以下とする。
- 5) **提出**：PDF ファイルを作成し，参加登録・研究発表申し込みサイトにおいて，発表申し込みと同時にアップロードする。PDF 作成時に，フォントは「すべて埋め込む」と設定する。外側の枠線は不要。発表の表題，発表者（連名者の順序を含む）がウェブでの申し込み入力と講演要旨とで同一であることに注意すること。
- 6) **図，表，写真**：仕上がりはグレースケールとなる。図表等は，線種や塗色・地紋に配慮したモノクロの原稿とすること。
- 7) **締め切り**：令和 5 年 8 月 25 日（金）【締め切り厳守】
- 8) **著作権**：投稿された講演要旨の著作権は，日本地熱学会著作権規定に従い学会に帰属する。
- 9) **問い合わせ先**

日本地熱学会学術講演会ヘルプデスク grsj-desk@conf.bunken.co.jp

学生ベストポスター・ベストプレゼンテーションコンテストについて(会告)

日本地熱学会では、将来の地熱研究、地熱資源開発を担う学生会員の活性化のため、学術講演会において、学生ベストポスター・ベストプレゼンテーションコンテストを下記の内容で実施します。学生会員諸氏の積極的な参加を希望します。

1. ポスターセッション及び口頭発表において、学生会員が第一著者であるポスター及び口頭発表を選考の対象とします。発表申し込み時に第一著者が以下のいずれかであることが必要です。
 - (1) 学生会員であること。
 - (2) 令和5(2023)年10月から始まる本学会令和6年度の学生会員として承認され、会費を納入していること。本コンテストの選考を希望する著者は発表申し込み時に「学生ベストポスター・ベストプレゼンテーションコンテストの選考を希望する」を選択してください。
2. 最優秀と認められたポスター及び口頭発表に対し、学生ベストポスター賞及び学生ベストプレゼンテーション賞を授与します。また地熱学会誌上で報告します。
3. 表彰は賞状の授与とし、大会の懇親会での授与、または後日、行事委員会よりご本人宛に送付します。

なお、ここでいう学生会員とは、正会員のうち「会費の減免措置に関する規定」による会費の減免を受けている大学院生・学部学生およびこれに準ずる者を言います。

学会未入会の学生が令和5年学術講演会（岐阜大会）での当コンテストに応募するには、令和5年7月7日までに入会を申請し、7月開催の評議員会で入会を承認され、会費を納入することが必要です。「日本地熱学会令和5年学術講演会（岐阜大会）の開催予告と研究発表募集」の「6. 研究発表」をご覧ください。

以上

見学会の開催について

日本地熱学会岐阜大会では、以下の見学会を開催いたします。ふるってご参加ください。

【見学会 1】岐阜市役所庁舎地中熱利用システム

- 実施日：令和 5 年 11 月 13 日（月）
- 見学先：岐阜市役所庁舎
- 募集人員：40 名（先着順。10 名に満たない場合は中止することがあります）
- 集合時間・場所：14:00（予定）岐阜市役所庁舎（岐阜市司町 40 番地 1）
- 解散時間・場所：16:00 頃 岐阜市役所庁舎
- 費用：無料

【見学会 2】奥飛騨温泉郷の地熱発電所

- 実施日：令和 5 年 11 月 17 日（金）
- 見学先：TAKENAKA 奥飛騨地熱発電所，奥飛騨第一バイナリー発電所，中尾地熱発電所、中尾温泉源泉
- 募集人員：25 名（先着順。10 名に満たない場合は中止）
- 集合時間・場所：8:00 JR 岐阜駅団体バス駐車場（学術講演会会場であるじゅうろくプラザのすぐ北側）
- 解散時間・場所：20:00 頃 JR 名古屋駅
- 費用：11,400 円～20,700 円（昼食代，旅行保険代，新穂高ロープウェイ運賃込み）

*上記の費用は概算額です。参加人数によって変動します。

- 申し込み：参加希望者（日本地熱学会員に限る）は以下のサイトよりお申し込みください。

見学会 1 <https://forms.gle/9UwdtdCckBb4eqpC6>

見学会 2 <https://forms.gle/1UTkPRKf8C8PayfA7>

問い合わせ先：〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

岐阜大学工学部社会基盤工学科 大谷 具幸

E-mail: grsj2023gifu@gmail.com

締切：令和 5 年 10 月 13 日（金）

以上

第12回日本地熱学会チャリティーゴルフコンペ(岐阜大会)のご案内

幹事:田上

第12回日本地熱学会チャリティーゴルフコンペ(岐阜大会)を下記の要領で開催いたしますので、奮ってご参加下さい。

記

1. 開催日

令和5年11月17日(金) 8時22分スタート予定(OUT、IN6組の同時スタート(計12組、48名))

2. ゴルフ場

岐阜稲口ゴルフ倶楽部 <http://www.inaguchigc.com/>

〒501-3932 岐阜県関市稲口1189 TEL:0575-24-5811

3. 集合場所・時間

同カントリークラブカウンターでの受付後は8時05分まで自由行動

8時05分～:スタートラウンジ前に集合⇒幹事よりルール説明

4. アスセス:

現在検討中ですが、JR岐阜駅前からゴルフ場までを貸切バスにて送迎予定です(片道約40分)

(参加される方はJR岐阜駅、名鉄岐阜駅の近くにホテルをお取りください)

5. 参加費用

参加費:5,000円(チャリティー代4,000円+賞品代1,000円)

プレー代: 約11,000円(昼食付、乗用カート込)(飲料は別)

6. ルール及び賞品

ルール:新ペリア方式(トリプルボギー&36打切り)

賞品:優勝、準優勝他順位賞、ベストグロス賞、ニアピン賞、ドラコン賞、Xニアピン賞他多数

7. 表彰式

表彰式:プレイ、入浴終了後、2階コンペルームにて開催予定

8. 寄付先

現在検討中ですが、前回同様、地熱や自然エネルギーの学習教材の購入費に充てます(前回の東京大会と同様)

9. 前夜祭

3年ぶりの開催に向けて現在検討中です

10. 参加申込み

申込先:日鉄鉱コンサルタント株式会社 営業部 田上(tanoue@nmconsults.co.jp) TEL03-6414-2762

以上

会告 共催セッション 「地域に根差す地下水資源エネルギーの開発と保全」

日本地熱学会は令和5年学術講演会（岐阜大会）において、公益社団法人日本地下水学会と「地域に根差す地下水資源エネルギーの開発と保全」に関する共催セッションを開催いたします。

【共催セッションの背景】

2050年までのカーボンニュートラルの実現のため、我が国では2020年に「グリーン成長戦略」が策定され、その戦略の1つとして、2030年までに建築物の省エネ基準をZEB・ZEH（Net Zero Energy Building/House）基準の水準の省エネ性能に引き上げるなど住宅・建築物への一層の省エネ推進強化が掲げられている。そのような背景の中、国交省が公表した「住宅・建築物における省エネ対策等の在り方のとりまとめ」においても「地中熱」の利用拡大が明記されるなど、今後更なる地中熱利用への関心の高まりが期待される。

そのような中、わが国に賦存する豊富な地下水資源を活かすことのできるオープンループ型地中熱利用システムが注目される。特に帯水層蓄熱については古くより山形盆地で先行して実証事業が進められてきたほか、最近では大阪市において自治体を中心となって大規模な開発が進んでいる。また地域によってはヒートポンプシステムに必ずしも依らない地下水の熱エネルギー利用もみられる。例えば北陸地方では地下水を道路散水して融雪に用いているほか、北海道では夏季に地下水を建物内に循環させて冷房するフリークーリングが行われている。各地の温泉でも温泉水の二次利用として暖房や温室栽培、融雪など様々な地下水が利用されている。一方、こうした地下水資源のエネルギー利用を進めるには、地盤沈下や熱汚染などの地盤環境への影響管理や帯水層の地下水収支や流域全体の水循環系や生態系に対する保全の視点も欠かせない。

日本地熱学会は長年、我が国における地中熱の研究開発を先導し、その知見の蓄積や国際的ネットワークを有する。一方、日本地下水学会は様々な地域の地下水環境に関する知見やネットワークを有している。両学会の交流を強化することによって、地下水資源エネルギーの開発および保全に関する知見の集積と課題解決を図り、カーボンニュートラル実現に向けた地中熱利用の普及促進および発展に資することを目的とする。

本セッションでは、日本地下水学会からの招待講演1件および日本地熱学会からの招待講演1件、また、地下水資源エネルギーの開発と保全に関する一般講演を広く募集し、地下水熱利用の今後の発展に向けた課題について議論する。

【コンピナー】

日本地熱学会： 内田洋平（産業技術総合研究所 地質調査総合センター）

日本地下水学会： 阪田義隆（金沢大学 理工研究域）

【開催日時】 令和5年11月14日（火）午後を予定

【開催場所】 じゅうろくプラザ（岐阜県岐阜市橋本町1丁目10-11, JR岐阜駅前）

【講演申込】

日本地熱学会・令和5年学術講演会のホームページで受け付けます。

<https://grsj.gr.jp/event/conference/top/>

※ 申込み締切は、8月25日（金）です。

※ 申込みの際、「共催セッション」を選択してください。